



さば ひろゆき	
佐羽 宏之	
区 分	その他
居 住 地	群馬県
所属・役職	三立応用化工株式会社 代表取締役社長

### 相談方法・連絡先

相談方法	メールまたは電話
相談可能日時	随時(但し、本業や地元での活動で直ぐに対応できない場合もあります)
電話番号	090-3003-6730
メールアドレス	tansai@po.wind.ne.jp

### 取組の概要

群馬県の東毛地域において公共交通の維持・発展を目的に「2015年からの生活交通をつくる会」を設立。わたらせ渓谷鐵道や上毛電鉄を民間の立場から支援を行うことを目的に「わたらせ渓谷鐵道市民協議会」、「上毛電鉄友の会」の設立に参画。各組織ともに無償のボランティア参加を基本に活動。公共交通が苦境にある状況にあって様々な取り組みを通して、市民の手で既存の公共交通を守り・発展させていくことを提唱し、沿線市民に公共交通への関心を持たせている。

### 本人の言葉

群馬県東部の桐生市を中心に、公共交通を生かしたまちづくりに取り組む市民活動をやっています。大切なのは、地域の市民が公共交通の重要性に気付き、一歩進んで、鉄道やバスの事業者と協力、応援しつつ、自らが住むまちを移動に困らないまちにする活動に取り組むことではないでしょうか。そのためにはどうすれば良いのかが私の活動の日常課題です。

## 略歴等

- ▶ 平成17年 4月 「2015年の公共交通をつくる会」を設立。会長に選任～現在に至る。  
※現在は、「2015年からの生活交通をつくる会」に名称を変更
- ▶ 平成18年10月 「わたらせ渓谷鐵道市民協議会」の設立に参画。会長に選任～現在に至る。
- ▶ 平成22年 5月 「上毛電鉄友の会」の設立に参画。副会長に選任～現在に至る。

## 取組の内容、特徴

- ▶ 群馬県の東毛地域において公共交通の維持・発展を目的に「2015年の公共交通をつくる会」を設立。  
わたらせ渓谷鐵道や上毛電鉄を民間の立場から支援を行うことを目的に「わたらせ渓谷鐵道市民協議会」、「上毛電鉄友の会」の設立に参画。
- ▶ 各組織ともに無償のボランティア参加を基本に活動。公共交通が苦境にある状況にあって様々な取り組みを通して、市民の手で既存の公共交通を守り・発展させていくことを提唱し、沿線市民に公共交通への関心を持たせている。

## 取組への意欲、取組における役割

- ▶ 桐生で生まれ育ち、桐生市民として地域公共交通を何とかしたいとの気持ちから事業者を支援する団体の立ち上げに尽力し、自ら先頭に立ち市民の手で公共交通を盛り上げる環境整備を行っている。また、他地域における同様の取組との連携にも熱心である。
- ▶ 本業である民間会社社長の重責を果たしながら、平日夜間や土休日を惜しむことなく支援活動にあて熱心に取り組んでいる。
- ▶ 調整方法は「直談判」というほど人との繋がりを大切にし、今まで築いてきた人脈をフル活用して専任の運営スタッフがいない各組織をまとめ活動を広めている。

## 取組の成果、地域への貢献度

- ▶ 各組織ともに会員数が着実に増加している。これはマイスターの考えに賛同した市民が増え、地域に浸透してきていることの現れである。
- ▶ 公共交通利用促進支援にとどまらず、クッキーを販売し売上金の一部から運行事業者へ寄付するなど、豊富なアイデアに基づく様々なサポートは運行事業者から非常に喜ばれている。
- ▶ 各組織とも会員沿線住民から遠方の会員まで幅広く、無償のボランティアであるにもかかわらず休日を割いて数々の取り組みに率先して参加するほど、市民同士の意見交換の場となっている。各組織の活動は公共交通の利用促進にとどまらず地域活性化の核となるほど意識が高い。

## 先達としての実績

- ▶ 群馬県をはじめ各自治体の地域公共交通関連のみならず観光関連の委員会にも多数参画するなど、幅広い知識を持っており高い評価を得ている。
- ▶ 群馬県の「地域公共交通に関する有識者会議」委員として、群馬県に提言を行った。
- ▶ 市民参加のシンポジウム等での講演を数多く行っており、公共交通の維持・発展には市民の力が不可欠であることを訴え続け、広めている。
- ▶ 自治体主催の委員会に参画するだけでなく、自治体職員研修の講師も務めるなど、自治体にとってなくてはならない存在である。

# マイスターが支援している主な地域公共交通

## わたらせ渓谷鐵道

### 〈営業区間〉

桐生駅～間藤駅 44.1km

### 〈運行本数〉

【普通列車】桐生駅～大間々駅 18往復

大間々駅～間藤駅 11往復

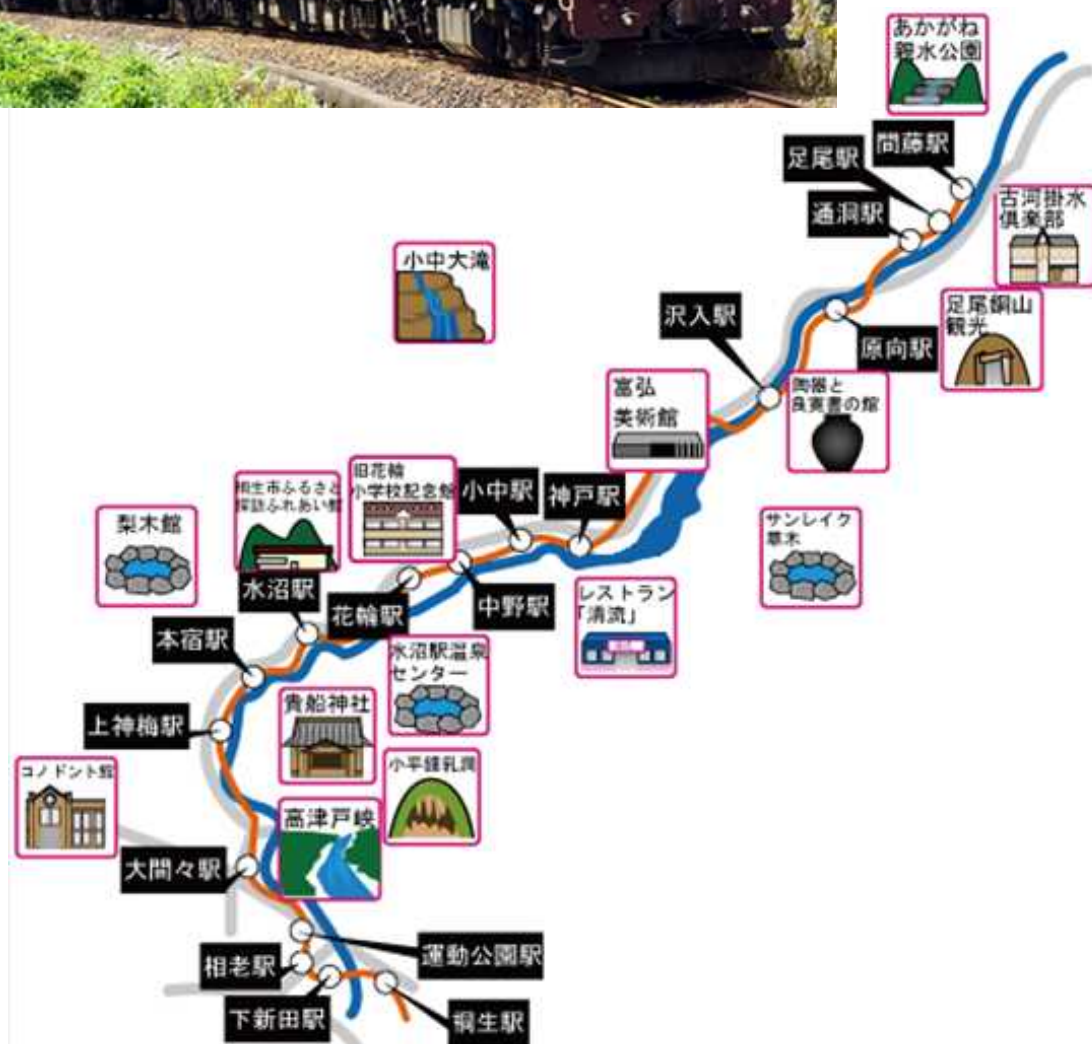
【トロッコ列車】大間々駅～足尾駅

1往復(土休日等指定日に運行)

### 〈設立〉

昭和63年10月

(前身は足尾鐵道)



# マイスターが支援している主な地域公共交通

## 上毛電気鉄道

〈営業区間〉

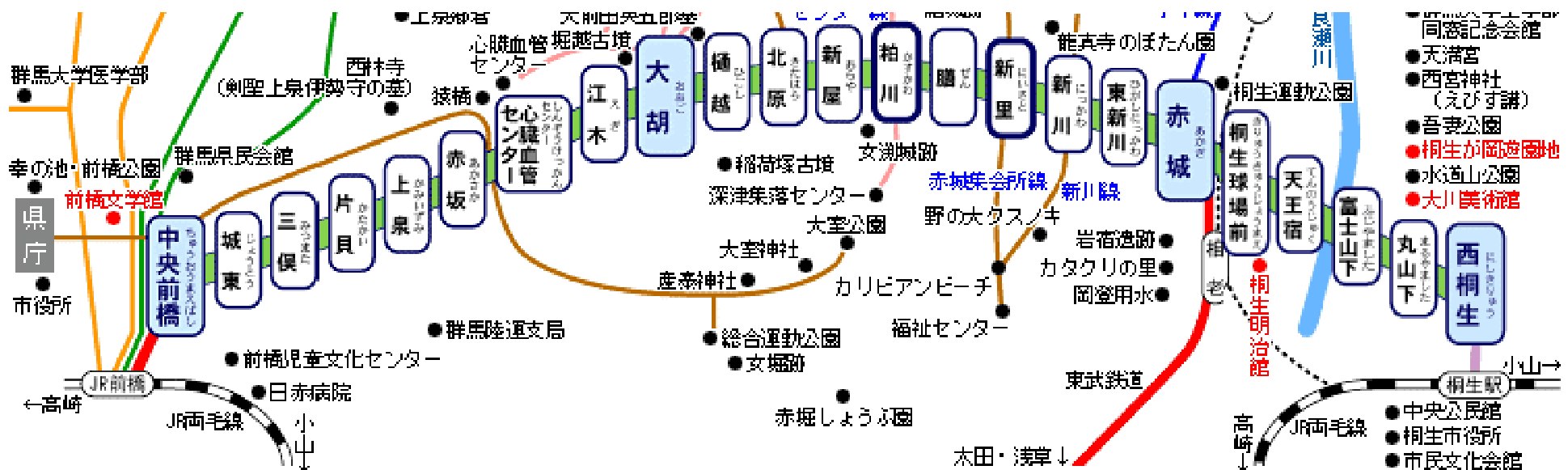
中央前橋駅～西桐生駅 25.4km  
(昭和3年営業開始)

〈運行本数〉

中央前橋駅～西桐生駅 34往復

〈設立〉

大正15年5月



# マイスターが支援している主な地域公共交通

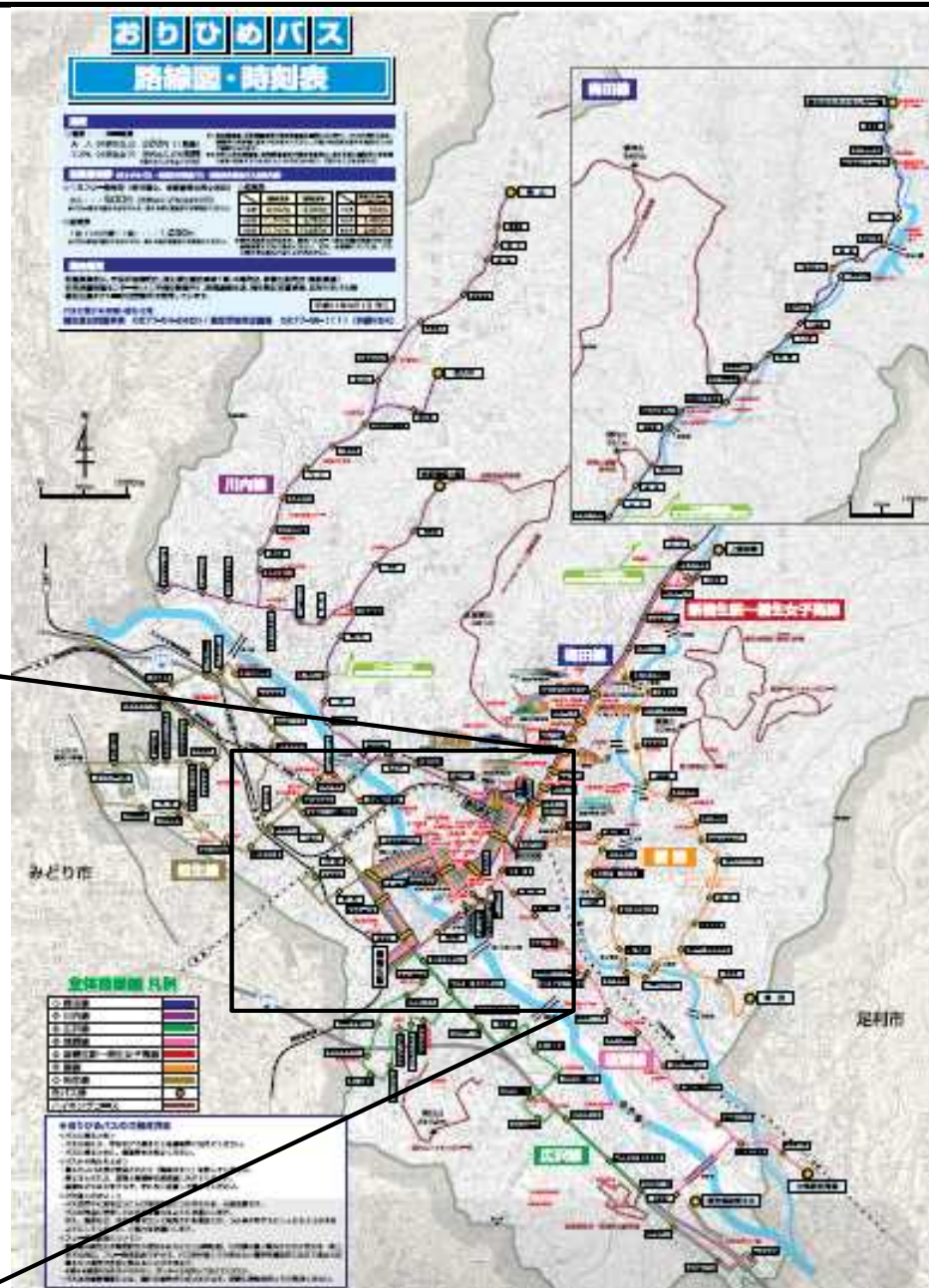
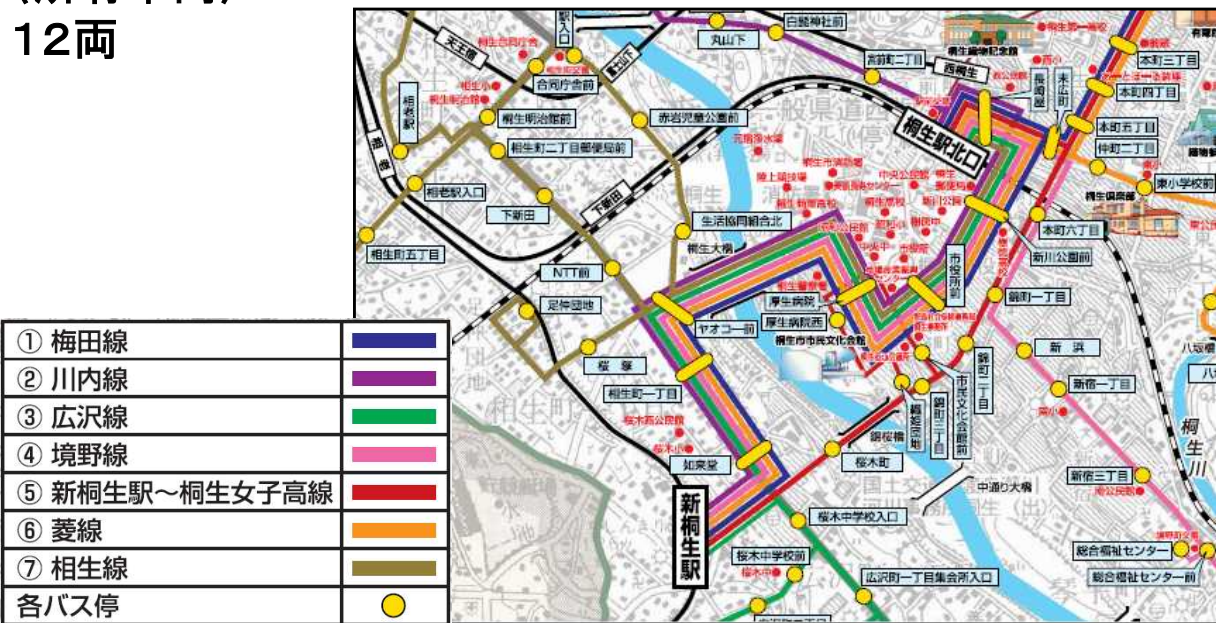
## おりひめバス

桐生市コミュニティバス〈全7路線〉  
(桐生朝日自動車へ委託)

- ①梅田線    ②川内線
- ③広沢線    ④境野線
- ⑤新桐生駅～桐生女子高線
- ⑥菱線      ⑦相生線

〈運行開始〉  
平成4年12月  
民間路線バス廃止代替

〈所有車両〉  
12両



# マイスターが支援している主な地域公共交通

## その他

マイスターが会長を務める「2015年の公共交通をつくる会」の活動主旨として、「自家用車がなくても現在ある公共交通を活かしたまちづくり」を目指していることから、支援する事業者を限定せず取り組んでいる。

### 【上信電鉄】

イベントでミニトレインの運行により、公共交通PR

### 【商店街との連携】

世田谷駅(東急世田谷線)駅前商店街との連携

### 【第三セクター】

第三セクター鉄道応援団との情報交換

など、公共交通に関する分野での幅広い支援活動

# マイスターが参画している支援団体

**【2015年からの生活交通をつくる会】** ※「2015年の公共交通をつくる会」から名称を変更  
「10年後のきりゆう地域に自家用車が無くとも移動に不便のない住み易いまちを実現すること」  
を目標に2005年(平成17年)に設立。



**〈クッキーの売上金を寄付〉**  
福祉施設で作ったタブレット  
(通行手形)クッキーを販売し、  
売上金の一部をわたらせ溪  
谷鐵道の枕木代として寄付。



**〈クッキーの売上金を寄付〉**  
福祉施設で作ったバスの形  
をしたクッキーを販売し、売  
上金の一部をおりひめバス  
燃料代として寄付。



**〈ミニトレインの運行〉**  
公共交通を身近に感じてもら  
うため、各種イベントでミニト  
レインを運行し利用促進PR  
活動を精力的に実施。  
延べ3万人以上の乗車実績  
を誇る。



**〈駅清掃及び駅緑化事業〉**  
わたらせ溪谷鐵道「下新田  
駅」にて毎月1回の清掃活動  
や緑化事業としてハーブ園を  
つくり、わたらせ溪谷鐵道や  
上毛電鉄利用者に振る舞う  
サービスを実施。



**〈イルミネーション事業〉**  
わたらせ溪谷鐵道「相老駅」  
の担当として、地元保育園な  
ど地域と連携して実施。  
23年度はLEDを使い節電  
対策を施した。12月から2月  
にかけてのイルミネーション  
ツアーは満席という盛況ぶり。



**〈バス案内板設置〉**  
おりひめバス「桐生駅北口」  
バス停に路線図や時刻表を  
掲載した木製の案内板を設  
置。文字も大きく見やすくな  
ったとバス利用者からも好評。

# 【わたらせ渓谷鐵道市民協議会】

わたらせ渓谷鐵道を支援する市民、市民グループ、企業などの団体の情報共有化を図り、相互の協力をしながら鐵道会社の支援に当たれるように、中間支援を行うことを目的に平成18年に設立。



## 〈わ鐵ピカピカ大作戦〉

トロッコ列車を含む各車両をブラシを使ったボディ洗浄から車内清掃まで手作業で行い、利用しやすいクリーンな乗り物としてのイメージアップを図る。

## 〈その他の主な取組〉

- ・わたらせ渓谷鐵道活性化協議会委員(佐羽氏)
- 【公共交通活性化・再生総合事業(22年度から活用):国土交通省】  
→地域資源としての鐵道施設やそれに付随する景観の向上と合わせ、自走式トロッコ列車を導入し、発着駅の延伸、運行本数の拡大を図り、鐵道の活性化を行うもの。
- ・わたらせ渓谷鐵道市民協議会通信の発行(年4回)
- ・足尾鐵道100周年記念事業の開催  
「喜劇 各駅停車」の上映会  
この映画の上映にあたっては、配給会社との交渉や高額な費用など、高いハードルを越えて実現

# 【上毛電鉄友の会】

上毛電氣鐵道(株)の運行継続に必要な諸事業に対し支援を行うことにより、上電の活性化に寄与することを目的に平成22年に設立。



## 上毛電鉄友の会オフィシャルサイト



地域の足である上毛電鉄の末永く「上毛電鉄友の会」が発足しました上毛電鉄をサポートして、みんなが

上電の設立記念日——5月27日。  
(大正15年5月27日設立 85年)

[上毛電鉄トップページへリンク](#)

## 〈主な取組〉

- ・「上毛電鉄友の会オフィシャルサイト」を開設。  
沿線地域の方だけでなく、当会の活動主旨に賛同した方々が、全国各地から会員となっている。
- ・会誌やPRチラシを発行し、事業者を支援する会員拡充に積極的に取り組む。
- ・季節に合わせた飾り付け電車のサポートやスタンプラリーの開催など上毛電鉄に関する各種イベントに参加し活性化を図る。



# マイスターの役歴・講演等の実績

## 《役職》

・三立応用化工株式会社 代表取締役社長

・群馬県交通政策懇談会委員

・桐生市地域公共交通会議委員長

・桐生観光協会事業委員会委員

・群馬県総合計画策定東部地域懇談会委員

・地域公共交通に関する有識者会議委員(群馬県交通政策課主催)

・桐生市観光基本計画作成委員会委員長

・群馬県観光審議会委員

・桐生市おりひめバス運行事業検討委員会委員長

・きりゅう市民活動推進ネットワーク副代表

他 多数  
(過去の役職を含む)

## 《シンポジウム等の講演実績》

・平成18年 1月 わたらせ渓谷鐵道について考える集い 演題「これからの課題」

・平成18年 2月 公共交通を考えるシンポジウム2006 パネリスト

・平成19年 2月 きりゅう市民活動推進ネットワーク公開講座 演題「どうつくる！？桐生地域の足」

他 多数

## 《自治体職員研修における講演実績》

・平成19年 3月 みどり市職員研修 演題「このまちにある鉄道を未来につなぐために」

・平成22年11月 群馬県市町村合同研修 演題「わたらせ渓谷鐵道市民協議会の活動~どう守る地域の足~」

・平成23年 1月 太田市周辺市職員 わたらせ渓谷鐵道視察研修 演題「どう守る地域の足」

他 多数